

施策15 子育て支援の推進

作成日: 平成21年7月24日 主管課名: 生活福祉部保健福祉課

| 施策名称 | 主管課 | 施策の対象 | 施策の対象指標 | 施策の意図 | 施策の成果指標 | 実績値 (H17) | 実績値 (H18) | 実績値 (H19) | 実績値 (H20) | 単位 | 目標値 (H20) | 目標値 (H21) | 目標値 (H22) | 取得方法 | 指標取得主管課・係 | 算定式・取得先等 | 施策の20年度目標達成度とその要因 | 施策の22年度目標達成に向けての課題 |
|---|-------------|--------------------|-------------------------|---|------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----|-----------|-----------|-----------|---------|-----------------|--|---|--|
| 15 子育て支援の推進 | 保健福祉課 | 子どもと保護者 | 0歳から小学生までの人口 合計特殊出生率 | 安心して子どもを産み、育ててもらおう | 仕事と子育てが両立できる環境にあると感じる市民の割合 | 25.9 | 24.9 | 25.8 | 28.1 | % | 成 28.0 | 成 28.0 | 成 28.0 | 市民アンケート | 保健福祉課 | ・H20市民意識調査(問7)あなたはお住まいになっている地域の子育てや高齢者福祉について、日頃、どのように感じていますか？仕事と子育てが両立できる環境にあると思う4.7% どちらかといえば思う23.4% | 仕事と子育てが両立できる環境にあると感じる市民の割合は、前年度より増加したものの、20年度目標値を若干下回った。 子育てに関して不安感や負担感などを感じている保護者の割合については、目標を達成しているが、依然として5人に1人の割合で子育てに不安を持っている保護者がいる。 その要因としては、勤務形態の多様化や、核家族化による経済的な負担感の増加が考えられる。 | 「仕事と子育てが両立できる環境にあると感じる市民の割合」は、20年度時点やや目標を下回っていることから、子育て世代の家庭に対する施策の充実と、事業の周知を図っていく必要がある。 「子育てに関して不安感や負担感などを感じている保護者の割合」は目標を達成しており、今後も、継続した事務事業の推進を図っていく。 乳幼児の育児支援として、特別保育事業の拡充、民間保育園への支援及び保育料の軽減策等を継続する。 また、小学校低学年を対象とした学童保育の拡充を図っていく。 そのほか、各種子育て支援制度の周知を図っていく。 |
| | | | | | 子育てに関して不安感や負担感などを感じている保護者の割合 | 1歳6カ月 16.8% 3歳 25.4% | 1歳6カ月 19.4% 3歳 25.9% | 1歳6カ月 19.5% 3歳 25.8% | 1歳6カ月 18.3% 3歳 22.2% | % | 成 50.0 | 成 50.0 | 成 50.0 | | | | | |
| 子育てに関する不安や悩みを軽減・解消してもらおう 疾病を予防し・早期治療が受けられる | 乳幼児の健康相談参加率 | 69.8 | 69.9 | 72.4 | 78.1 | % | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 国保年金課 | 子どもと保護者 関係・支援機関 | 0歳から小学生までの人口 合計特殊出生率 | 子育てに関する不安や悩みを軽減・解消してもらおう 疾病を予防し・早期治療が受けられる | 乳幼児の健康相談参加率 | 69.8 | 69.9 | 72.4 | 78.1 | % | | | | 業務取得 | 国保年金課(保健介護センター) | ・受診者/対象者(離乳食教室、7ヶ月児健康相談)大船渡市健康づくり推進協議会資料より抜粋 | 乳幼児の健康相談については、保健介護センター事業として行っている離乳食教室と7ヶ月児健康相談が含まれる。この参加率は78.1%と、ここ数年増加傾向にある。このうち、7ヶ月児健康相談は約80.3%の参加率であり、離乳食教室についても、75.8%が参加している。 | 主な事務事業は以下のとおり ・医療費助成事業(乳幼児、妊婦、母子家庭、父子家庭) ・乳幼児、妊婦、母子家庭、父子家庭の医療費の一部負担金を助成している。 ・妊婦検診管理事業 ・母子健康手帳や妊婦健診受診票を交付。また、妊娠・出産・育児に関して正しい知識を普及するため、マタニティ教室・パパママ教室を開催した。 ・乳幼児歯科保健事業 ・乳幼児に対して歯科健診、歯科個別指導を実施した。 ・乳幼児健康診査事業 ・医療機関や保健介護センターで乳幼児の健康診査を実施し、育児相談等に応じた。 |
| 2 | 保健福祉課 | 子どもと保護者 関係・支援機関 | 0歳から小学生までの人口 合計特殊出生率 | 子育ての負担が軽減される 仕事と子育てが両立できる | 保育サービスが充実していると感じる市民の割合 | 42.4 | 42.3 | 41.9 | 41.5 | % | | | | 市民アンケート | 保健福祉課 | ・H20市民意識調査(問7)あなたはお住まいになっている地域の子育てや高齢者福祉について、日頃、どのように感じていますか？保育サービスが充実していると思う12.0% どちらかといえば思う29.5% | 保育サービスが充実していると感じる市民の割合は、41.5%となっており、充実していないと感じている市民の割合(25.5%)を上回っている。一方、子供がいけないなどの理由で分からないと回答した市民は23.7%となっている。 就学前児童に対しては、公立保育所・民間保育所で延長保育・乳児保育・一時保育等の特別保育事業を実施し、保護者の多様な保育ニーズにこたえている。 | 主な事務事業は以下のとおり ・延長保育事業 ・民間保育所6箇所と公立保育所1箇所を実施し、保護者の勤務形態の多様化に対応した。 ・一時保育事業 ・冠婚葬祭等在宅での保育ができない家庭の児童を一時的に保育する。 ・地域子育て支援センター事業 ・猪川保育園と大船渡保育園に相談窓口を設置し保護者からの育児相談に応じている。 ・子育て短期支援事業 ・(社)大洋会に委託し、夜間、保護者が不在となる児童の保育をおこなう。 ・放課後児童健全育成事業 ・市内6箇所の放課後児童クラブの運営費を助成した。 ・放課後児童クラブ施設整備事業 ・猪川小学校の分割のための設計を行った。 |
| | | | | | 放課後児童クラブ設置数 | 3 | 4 | 6 | 6 | 箇所 | | | | | | | | |

| 基本事業名称 | 主管課 | 基本事業の対象 | 基本事業の対象指標 | 基本事業の意図 | 基本事業の成果指標 | 実績値 (H17) | 実績値 (H18) | 実績値 (H19) | 実績値 (H20) | 単位 | 取得方法 | 指標取得主管課・係 | 算定式・取得先等 | 基本事業の成果水準とその背景 | 基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績 | | | |
|--------|-------|--------------------|-------------------------|---|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|------|-----------|----------|----------------|------------------------------------|---|--|--|
| 1 | 国保年金課 | 子どもと保護者 関係・支援機関 | 0歳から小学生までの人口 合計特殊出生率 | 子育てに関する不安や悩みを軽減・解消してもらおう 疾病を予防し・早期治療が受けられる | 乳幼児の健康相談参加率 | 69.8 | 69.9 | 72.4 | 78.1 | % | | | | 業務取得 | 国保年金課(保健介護センター) | ・受診者/対象者(離乳食教室、7ヶ月児健康相談)大船渡市健康づくり推進協議会資料より抜粋 | 乳幼児の健康相談については、保健介護センター事業として行っている離乳食教室と7ヶ月児健康相談が含まれる。この参加率は78.1%と、ここ数年増加傾向にある。このうち、7ヶ月児健康相談は約80.3%の参加率であり、離乳食教室についても、75.8%が参加している。 | 主な事務事業は以下のとおり ・医療費助成事業(乳幼児、妊婦、母子家庭、父子家庭) ・乳幼児、妊婦、母子家庭、父子家庭の医療費の一部負担金を助成している。 ・妊婦検診管理事業 ・母子健康手帳や妊婦健診受診票を交付。また、妊娠・出産・育児に関して正しい知識を普及するため、マタニティ教室・パパママ教室を開催した。 ・乳幼児歯科保健事業 ・乳幼児に対して歯科健診、歯科個別指導を実施した。 ・乳幼児健康診査事業 ・医療機関や保健介護センターで乳幼児の健康診査を実施し、育児相談等に応じた。 |
| 2 | 保健福祉課 | 子どもと保護者 関係・支援機関 | 0歳から小学生までの人口 合計特殊出生率 | 子育ての負担が軽減される 仕事と子育てが両立できる | 保育サービスが充実していると感じる市民の割合 | 42.4 | 42.3 | 41.9 | 41.5 | % | | | | 市民アンケート | 保健福祉課 | ・H20市民意識調査(問7)あなたはお住まいになっている地域の子育てや高齢者福祉について、日頃、どのように感じていますか？保育サービスが充実していると思う12.0% どちらかといえば思う29.5% | 保育サービスが充実していると感じる市民の割合は、41.5%となっており、充実していないと感じている市民の割合(25.5%)を上回っている。一方、子供がいけないなどの理由で分からないと回答した市民は23.7%となっている。 就学前児童に対しては、公立保育所・民間保育所で延長保育・乳児保育・一時保育等の特別保育事業を実施し、保護者の多様な保育ニーズにこたえている。 | 主な事務事業は以下のとおり ・延長保育事業 ・民間保育所6箇所と公立保育所1箇所を実施し、保護者の勤務形態の多様化に対応した。 ・一時保育事業 ・冠婚葬祭等在宅での保育ができない家庭の児童を一時的に保育する。 ・地域子育て支援センター事業 ・猪川保育園と大船渡保育園に相談窓口を設置し保護者からの育児相談に応じている。 ・子育て短期支援事業 ・(社)大洋会に委託し、夜間、保護者が不在となる児童の保育をおこなう。 ・放課後児童健全育成事業 ・市内6箇所の放課後児童クラブの運営費を助成した。 ・放課後児童クラブ施設整備事業 ・猪川小学校の分割のための設計を行った。 |
| | | | | | 放課後児童クラブ設置数 | 3 | 4 | 6 | 6 | 箇所 | | | | 業務取得 | 保健福祉課 | 20年度現在 盛小学校区(さくらっ子) 北小区(ゆうゆう) 猪川小区(キッズクラブ) 立根小区(たっせ) 赤崎小区(浜っこ) 末崎小区(希望の丘) | また、大規模学童クラブ(70人超)の対象となる猪川学童クラブを2クラブに分割するための設計(建設は21年度に繰越し)を行い、保護者が就労する家庭を側面から支援するとともに、児童にあっては異年齢児間の交流等を通して健全育成が図られている。 | |